

## 令和6年3月 定例教育委員会 会議録 要旨

### 1 日 時

令和6年3月28日(木)

開会 午前9時30分 閉会 午前10時45分

### 2 場 所

市役所西館 大会議室

### 3 出席及び欠席委員

出席者 大野教育長 荒牧委員 飯盛委員 白木原委員 吉田委員 永野委員 梶原委員

欠席者 なし

### 4 会議出席職員

池田教育部長 秀島学校教育担当部長 田中教育総務課長 於保保育幼稚園課長 空閑生涯学習課長 吉岡文化課長 西教育総務課副課長 南里保育幼稚園課副課長 土井教育総務課庶務係長

### 5 傍聴者

0名

### 6 教育長の報告事項

- ・令和2年3月の全国一斉の学校休校から4年が経ち、教育活動や人々の動きの変化があった。新たな視点を持つことや工夫を通じて教育活動を展開してきたことは、コロナ禍でなければ実現しなかった可能性がある。この4年間の経験を活かし、今後の方向性を考える必要がある。子どもたちは、私たち大人が経験していない様々な経験をして成長しており、我々が気づかない強さを身につけていると思う。卒業式や終業式、卒園式を通じて、子どもたちの成長を感じることができた。
- ・平成23年3月11日の東日本大震災から13年経ったが、災害の風化や意識の薄れを感じる中、1月の能登半島地震で、また東日本大震災を振り返る機会も出てきたと思う。やはり防災を自分のこととして意識するために、防災教育の重要性を改めて認識している。人の力が重要であり、支援だけでなく防災教育にも力を入れる必要があると感じている。
- ・先日第1回市議会定例会が閉会した。一般質問でも財政面だけでなく教育委員会の課題も指摘された部分もある。優先順位を決めつつ、課題解決に着実に取り組む必要がある。
- ・この時期はやはり人の別れと出会いということに尽きる節目のときだが、いろんな方々の力、出会いを大事にしながら、新しい年度も、多くの人々の力、知恵を借りながら、城創伝心人づくりをやっていかないといけないということも心新たにした。年度の終わりの月として、区切りをしっかりと持ちながら、新年度を迎えたいと思う。
- ・3月1日 県立高校卒業式(小城高校)、キャリア教育講話(牛津中)、子どもサポーター研修会、小城多久地区中体連役員会、小城街道ひなまつり(～3/3)
- ・3月4日 令和6年第1回市議会定例会開会
- ・3月5日、6日、7日、11日 市議会一般質問
- ・3月5日、6日 県立高校一般選抜入試
- ・3月8日 小城市立中学校・芦刈観瀾校卒業式
- ・3月12日 市議会議案質疑

- ・ 3月8日、13日 臨時小中学校校長会
  - ・ 3月14日 晴田幼稚園、三日月幼稚園卒園式、学校運営支援室協議会連絡会議
  - ・ 3月15日 小城市立小学校卒業式
  - ・ 3月19日 文教厚生常任委員会
  - ・ 3月21日 課長副課長会議、表敬訪問（牛津小）
  - ・ 3月22日 小中学校修了式・辞任式、社会教育委員の会議④・教育委員との意見交換会
  - ・ 3月24日 第52回おぎ観桜県下少年柔道大会
  - ・ 3月25日 第1回市議会定例会閉会、小城市子ども未来塾（あゆの会）図書贈呈、公立保育園卒園式（小城保育園、砥川保育園）、転入者事前説明会（各小中学校）
  - ・ 3月27日 幼児教育・保育ネットワーク会議③
  - ・ 3月28日 定例教育委員会
- （以下予定）
- ・ 3月29日 退職辞令交付
  - ・ 4月1日 辞令交付式、教職員赴任式
  - ・ 4月8日 小中学校始業式
  - ・ 4月11日 小城市立中学校・芦刈観瀾校入学式
  - ・ 4月12日 小城市立小学校入学式

**【質問・意見】**

◇E委員

3月27日の幼児教育・保育ネットワークの会議で話された、各園の共通の悩みを教えてください。

◇教育長

先生不足の問題があり、特にゼロ歳児や小さな子どもたちの受入れ体制が人手不足で困難な状況である。また先生不足の問題にも関係するが、特別支援教育に関連する人材不足や保護者との連携の難しさも課題である。特に2歳までの子どもの特性については判断や理解が難しく、診断書などの必要性やその理解が高まっているが、保護者にとっては大変な負担を強いることもある。人手不足と特別支援教育、支援が必要な子どもたちに対する対応について、どの園も共通の課題を抱えている。

小・中学校でも同様に、人員確保や教員の育成が課題となっており、働き方改革も必要とされている。全体的に人数が足りず、各園が共通の課題に直面している。

**【結果】**

承認

## 7 議 事

### 第1 議決事項

**【会議録】**

教育委員会の会議録について（公開）

**【質問・意見】**

なし

**【結果】**

承認

**【議案第30号】**

小城市就学援助規則の一部を改正する規則

◇教育総務課長が説明

提案理由は、就学援助費を変更するために、小城市就学援助規則の一部を改正する必要があるため。

改正内容は、別表の種類(2)の新入学児童・生徒学用品費、小学校の「40,600円」を「54,060円」に、中学校の「47,400円」を「63,000円」に変更し、(4)校外活動費、小学校の「3,470円」を「3,690円」に、中学校の「5,840円」を「6,210円」に変更し、(5)修学旅行費、小学校の「20,600円」を「22,690円」に、中学校の「55,700円」を「60,910円」に変更するもの。

この額の変更は、国の予算単価に合わせたものになっている。

**【質問・意見】**

◇F委員

子どもたちや保護者にとって非常にありがたいことだと思うが、近隣の市町はどういうふうになっているかということと、この制度はいつぐらいからあるのかを教えていただきたい。

◇教育総務課長

近隣の状況については、県内10市はほとんどの市が国の単価に合わせている状況。その改正時期が、差がついたときや国が改正したときにやるなどそれぞれで異なる。

この制度の開始時期は、平成17年度以前からあっていると思う。

**【結果】**

承認

**【議案第31号】**

小城市放課後児童健全育成事業実施規則の一部を改正する規則

◇教育総務課長が説明

提案理由は、小城市放課後児童クラブの位置及び定員を変更するため、規則の一部を改正する必要があるため。

改正内容は、別表第1、桜岡第4放課後児童クラブの位置を、小城町「166番地」から小城町「292番地」に変更し、定員を「10人」から「45人」に変更する。

次に、三日月第2放課後児童クラブの定数を「60人」から「70人」に変更し、牛津第1放課後児童クラブと牛津第2放課後児童クラブの定数をともに「40人」から「45人」に変更する。

今回の変更は、令和6年度に発生する待機児童の解消のために定員等を増やすものとなっている。

**【質問・意見】**

なし

**【結果】**

承認

**【議案第32号】**

小城市社会教育指導員規則の一部を改正する規則

◇生涯学習課長が説明

提案理由は、地方自治法の改正に伴い、会計年度任用職員に対して勤勉手当の支給を行うため、規則を改正するもの。

改正内容は、第8条の報酬及び費用弁償等の費用弁償「及び期末手当」を費用弁償「、期末手当及び勤勉手当」に改めるもの。

**【質問・意見】**

なし

**【結果】**

承認

【議案第 33 号】

小城市教育施設建設委員会設置要綱等を廃止する告示

◇教育総務課長が説明

提案理由は、教育委員会所管例規の整理を行い、事業の終了等の理由により、小城市教育施設建設委員会設置要綱等を廃止する必要があるため。

廃止する要綱等は11の要綱と1つの規程。

【質問・意見】

◇E委員

廃止する要綱等の中で、例えば、スクールバスとか「オンリーワン」体験事業とかは、事業等がなくなったことは分かるが、教育相談や安全確保推進事業は、名前だけを見ると引き続き重要なことであると思うが、それがなくなるということは、何か変わるものがあるなどの理由があるのか。

◇教育総務課長

廃止する要綱等に関しては、事業等が統廃合され別の事業になったなど理由で廃止するものであるため、全くなくなるということではない。

【結果】

承認

【議案第 34 号】

小城市「豊かな心を育む教育」推進委員会設置要綱等を廃止する訓令

◇教育総務課長が説明

提案理由は、教育委員会所管例規の整理を行い、事業の終了等の理由により、小城市「豊かな心を育む教育」推進委員会設置要綱等を廃止する必要があるため。

廃止する要綱等については、5つの要綱と1つの要領、1つの規程。

【質問・意見】

なし

【結果】

承認

【議案第 35 号】

小城市スポーツ推進委員の委嘱について

◇生涯学習課長が説明

提案理由は、小城市スポーツ推進委員の任期が令和6年3月31日をもって満了することに伴い、スポーツ基本法第32条第1項及び小城市スポーツ推進委員に関する規則第3条の規程に基づき提出するもの。

今回委嘱する39名のうち、38名が再任、1名が新任。

任期は、令和6年4月1日から令和8年3月31日までの2年間となる。

小城市スポーツ推進委員に関する規則第4条には、委員の定数は50名以内となっており、令和5年度までは46名で活動を行っていただいていたが、8名の方が今回でお辞めになられるとの意向であったため、欠員については、今後公募をしていきたいと考えている。

【質問・意見】

なし

【結果】

承認

【議案第 36 号】

小城市社会教育委員の委嘱について

◇生涯学習課長が説明

提案理由は、社会教育委員の欠員補充のため、後任の委員を委嘱する必要がある、教育委員会へ付議するもの。

今回委嘱するのは1名。学識経験者で、任期は令和6年4月1日から令和7年3月31日までの1年間で残任期間となる。

【質問・意見】

なし

【結果】

承認

第2 報告事項

【報告第 41 号】

小城市民図書館・小城市立中林梧竹記念館・小城市立歴史資料館の特別開館及び特別休館について

◇文化課長が説明

報告理由は、市民の利用促進及び職員の勤務体制の見直しにより、特別に開館及び休館を設定するもの。

まず、利用促進につなげるための開館日について、規則上では、こどもの日と文化の日の翌日とその他の祝日が休館となっているが、利用者が多い土曜日、日曜日については、利用促進のため特別に開館する。さらに、毎年6月の第1日曜日、教育の日については、市内の子どもたちが一斉登校をしており、翌日の月曜日は学校が休校となることから、子どもたちの利用促進のために開館する。

次に、職員の勤務体制の見直しによる休館日について、規則上では休館日となっていないが、こどもの日、文化の日及び小城市教育の日に伴う翌日の特別開館の振替を別日に設けている。

結果的には、祝日による休館日該当の土曜日、日曜日に当たる5月4日、8月11日、9月22日、11月23日、2月23日及び小城市教育の日の翌日の月曜日の6月10日を特別開館とし、こどもの日、文化の日の振替として、5月7日、11月5日及び小城市教育の日の翌日の開館の翌日の6月11日を休館とする。

【質問・意見】

◇D委員

開館日、休館日について広く市民に広報等される予定はあるか。

◇文化課長

周知については、図書館内で行い、市報等にも掲載する。また、市民図書館のホームページにも掲載して、広く周知する。

【結果】

了承

8 その他

(1) 教育委員会の共催及び名義後援事業について

◇教育総務課庶務係長が説明

①小城市サッカー協会「第16回小城市津の里モーモーカップ少年サッカー大会」後援申請

- ②2024日本のうたごえ祭典in佐賀実行委員会「2024日本のうたごえ祭典in佐賀」後援申請
  - ③能古島青少年育成協会「2024年夏「能古島自然教室」」後援申請
  - ④Filer Saga(フィレール佐賀)「時間の法則に出会えた奇跡」後援申請 ※不承認
  - ⑤株式会社佐賀新聞社「佐賀新聞創刊140周年記念「立体切り絵SouMaの世界展」」後援申請
  - ⑥佐賀県中学校体育連盟「令和6年度佐賀県中学校総合体育大会」共催申請
- 以上、共催1件承認、後援4件承認、1件不承認で報告する。

**【質問・意見】**

なし

**【結果】**

了承

(2) 令和6年度 定例教育委員会開催日程(案)について

◇教育総務課長が説明

開催日程は現在の予定を記載しているが、正式には定例教育委員会の中で翌月の日程を確認し決定するので、よろしく願いしたい。

**【質問・意見】**

なし

**【結果】**

了承

(3) 教育委員会部局 辞令交付式等スケジュールについて

◇教育総務課長が説明

令和6年度教育委員会部局の辞令交付式等をスケジュール表で示しているが、教育委員の皆さんに出席していただくのは、4月1日月曜日の午前10時からの教育委員会年度始め式と午後4時からの教職員赴任式となっている。

**【質問・意見】**

なし

**【結果】**

了承

**9 次回定例教育委員会開催日程及び場所**

◇定例会

**【日 時】** 4月25日(木) 午前9時30分から

**【場 所】** 小城市役所 西館2階 大会議室

**10 議 事【非公開】**

第1 議決事項

**【会議録】**

教育委員会の会議録について(非公開)

**【承認】**

**【議案第37号】**

教育委員会事務局職員の人事異動について

**【承認】**

第2 協議事項

**【協議第9号】**

就学援助(準要保護)の認定について

**【了承】**

第3 報告事項

【報告第42号】

就学援助の認定について

【了承】

【報告第43号】

教育委員会事務局職員の休職について

【了承】

【報告第44号】

教職員に係る服務上の措置について

【了承】